

災害用備蓄品(避難所用パ
ーティション、避難所用段ボ
ールベッド)購入契約の締結につ
いて、条例の規定に基づき議会
の議決を求めるものです。

●契約の方法

条件付一般競争入札

●契約の金額

2千209万8千10円

●契約の相手方

東洋安全防災株式会社
仙台営業所

予算

◎令和2年度白石市一般会計
補正予算(第5号)

これまでの歳入歳出予算に
それぞれ5億3千199万7千円
追加し、予算総額を197億1千
811万7千円とするものです。
主な内容は次のとおりです。

○地域おこし協力隊を活用し
た関係人口促進事業
1千280万円

○スパシユランドしろいし
設備改修調査事業
363万円

○ホワイトキューブZEB化
推進改修事業
3億3千612万4千円

○オンラインによる妊産婦等
相談事業
292万円

○新型コロナウイルス農林業
災害対策資金利子補給補助
事業
20万7千円

○森林経営管理推進事業
631万4千円

○スマートインターチェンジ
整備事業
550万5千円

○道路維持補修費(除雪関連
経費)
5千997万円

○寄附金を活用した教育環境
整備事業
200万円

○公共土木施設災害復旧事業
1千850万円

本会議質疑より

◎白石市公共下水道事業
公共ます設置分担金条例

〔質疑〕土地所有者の都合によ
る新たな公共ますの設置と
は、年間どのくらいあるのか
伺う。

〔答弁〕新たな公共ますの設置
状況は、令和元年度で2カ所、
平成30年度で12カ所、平成29
年度で9カ所である。

〔質疑〕公共ます設置により利
益を受ける者が限定されると
は、どのような場合なのか伺う。

〔答弁〕土地の所有者が新たに
分筆して土地を売買するなど、
新たに下水道を接続する場合
に公共ますの設置が必要であ
ることから、それに対し分担金
を負担していただくこととする
ものである。

◎令和元年度白石市一般会計
及び特別会計歳入歳出決算
の認定について

〔質疑〕令和元年度決算は、一般
会計で実質単年度の収支が3
億3千400万円余の黒字となっ
た。このことについて、どのよ
うな分析をされているのか伺
う。

〔答弁〕令和元年度は、しろいし
サンパークの整備をはじめとす
る地方創生事業や子育て支援
事業、また、台風19号による災
害復旧事業などに一丸となって
取り組んだ。

歳入面では、ふるさと納税寄
附金が前年度と比較して約9
倍のおよそ5億6千400万円と
大幅に増加し、また固定資産税、
普通交付税が増加したこと

より、基金からの繰入金が大幅
に減少した。

特にふるさと納税寄附金の
増加は、本市に関心を持つ方が
大変多いことを改めて実感で
きたものであり、第五次白石市
総合計画に示す「人暮らし環
境が活きる交流拠点都市づく
り」を実現するための白石市ま
ち・ひと・しごと創生総合戦略
にのっとりた各種施策を確実に
実行した成果が表れたものと
考える。

〔質疑〕ふるさと納税寄附金が
大幅に増加した要因を伺う。

〔答弁〕ふるさと納税をされて
いるのは女性が多いことから、
ターゲットを絞り込み、女性か
ら選ばれるような返礼品のラ
インナップを増加したこと、ま
た、ポータルサイトの拡充など、
さまざま媒体を使って露出
を増やしたことが好結果につ
ながったものと考ええる。

また、なるべく簡単に手続き
ができるような仕組みについて
も検討した結果であると考え
ている。

◎令和2年度白石市一般会計
補正予算(第5号)

〔質疑〕ホワイトキューブZEB
化推進改修業務委託料につ
いて、3億3千612万4千円計上さ
れているが、その内容を伺う。

〔答弁〕市の指定避難所である
ホワイトキューブについて、国の
補助金を活用し、再生可能エネ
ルギー設備および高効率設備
機器を導入することにより、平
時の脱炭素化に加えて、被災時
にも必要なエネルギーを供給
できる施設整備を行うもので
ある。

具体的には、冷暖房をパッケ
ージ型のエアコンに、給湯設備
を電気式のヒートポンプの給
湯器に替えることで、重油の使
用を行わない改修を行い、また、
照明設備をLEDに改修し、太
陽光発電と蓄電設備を併設す
る。

このほか、BEMS(ビル・エ
ネルギー管理システム)を導入
し、建物内のエネルギー使用状
況や設備機器の運転状況を把
握し、最適な機器の運転制御を
自動で行い、省エネにつなげて
いくものである。